

消費者教育教材「買い物を考えよう！！」のホームページ公開及び貸出を開始します

千葉市消費生活センターでは、平成29年3月に作成し、市立小学校等に配布した消費者教育教材「買い物を考えよう！！」のホームページ公開及び貸出を開始しますので、お知らせします。

1 趣旨

千葉市消費生活センターは、昨年3月に市教育委員会、市立小学校特別支援学級等と連携して作業部会を立ち上げ、本年3月に教材「買い物を考えよう！！」を作成し、同年5月に市立小学校等に配布（※別紙2参照）しました。このたび、小学校以外の教育現場等で広く活用できるよう、本教材のホームページでの公開及び貸出を開始し、消費者教育のさらなる推進を図ります。

2 教材内容

(1) 名称

小学校学習指導要領等に基づいた特別支援学級向け教材（消費者教育）
「買い物を考えよう！！」

(2) ねらい

子供達が将来、社会で自立した生活をするために、消費者として必要な基礎的知識を身に付け、その知識を活かして判断し選択する能力を育成するための教材であり、社会の一員としての消費者の役割が自覚できるようになることを目的としています。

(3) 特徴

本教材は、特別支援学級に在籍する児童向けに作成していますが、通常学級の児童にも使用できます。

買い物に関する14の題材（※別紙1参照）について、児童の状況に応じて2～3段階の学習目標を示しています。また、ワークシートはWord（ワード）で作成しているので、子供達の状況に応じて工夫して使用できます。

(4) 対象年齢

4歳から9歳（小学校1～3年生及び特別支援学級の児童）

※授業の進め方やワークシートを工夫することで、10歳以上を対象に使用することもできます。

3 ホームページ公開及び貸出開始日

平成29年12月19日（火）

※ホームページURL

<http://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/shohi/kyouzai-kaimono.html>

4 添付書類

- (1) 小学校学習指導要領等に基づいた特別支援学級向け教材（消費者教育）指導用資料「買い物を考えよう！！」の題材名と概要【別紙1】
- (2) 小学校学習指導要領等に基づいた特別支援学級向け教材（消費者教育）指導用資料「買い物を考えよう！！」【別紙2】

小学校学習指導要領等に基づいた特別支援学級向け教材（消費者教育）指導用資料
「買い物を考えよう！！」の題材名と概要

	題材名	概要
1	お金はどこに行くの？	お金には限りがあり、お金がなければ困るという意識を持たせることで、お金の大切さと大切にするための節約の工夫を学びます。
2	お金はどのようにつかえばいいの？	くじをするために、模擬通貨を使う（ゲーム性の強いものにお金を使う）経験により、お金の限りがあることや欲しいものを買う方法を学びます。
3	おこづかいで何ができるの？	お金は商品やサービスに変えられる他、「貯める」という使い方もあります。お金の働きから、自らの使用方法も考えます。
4	おごってよと言われたら？～大切なお金のつかい道～	大切なお金で、むやみに友達に何かをおごってはいけません。お金を大切にする方法を考え、その一つである計画的なお金の利用方法（お小遣い帳をつける）を学びます。
5	買いものに行く前に、気をつけることは？	買い物に行く際に、持っていくものを確認し、買うものを忘れないためのメモをつくりまします。買い物をするための基本とメモづくりを通して計画性を学びます。
6	なぜ、みんなはスーパーマーケットで買いものをするの？	店舗は消費者に物を売る場所であり、利益を上げるために、様々な工夫をしています。その工夫を学ぶことで、店舗が消費者に物を買わせる場であることや消費者は選択の必要があることを学びます。
7	お店たんけん！お店で見られるあれって？	お店を俯瞰して見ることで、買い物のマナーから契約、環境に配慮した生活、個人情報取り扱い、製品の安全な使用など消費者としての心得を幅広い視点で学びます。
8	本をやぶいたら…～お店のものはだれのもの？～	お店のものは商品ですから、大切に扱う必要があります。店舗にある商品の扱いを通して、お店で困ったことがあったときには、人に相談することを学びます。
9	はけなくなったズボンの行き先は？	自分に必要がなくなったものも、社会に意味のある（再利用可能な）利用の仕方があります。ものを大切に扱うことで、社会にどのような影響があるのかを学びます。
10	お金のゆくえは？	お金が商品やサービスと交換（労働の対価としての交換も含む）され、会社・お家・お店など社会を循環していることを学びます。
11	しょうひんをくらべよう！どっちにしようかな？	買い物をする際に、判断の基礎となる比較の視点（値段・数・大きさ・量・新鮮さ・温度・消費期限）7項目を学びます。
12	いくらで買えるの？	商品のおおよその価値（値段）と共に、商品には値段という価値を表す指標があることを学びます。
13	どっちのお店に行く？	2つの店舗を比べ、商品の種類や価格などに違いがあることに気づきます。消費者は、商品の選択だけでなく、店舗の選択もする必要があることを学びます。
14	どのコロッケをえらぼうかな？	4人分のコロッケの買い物を想定し、いくつかのパターンの中から、自分ならどの組み合わせを買うか選択するための視点を学びます。